様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	2024	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	○有　○無
		個別事業	観光PRキャラクター活用		
	②部課名	環境経済部・商業観光課			
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	平成２５年度　～		⑥担当職員数	1 人　（換算人数　0.05 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	1,000 千円	当該(開始)年度	（当　初）2,650 千円　（うち人件費　465 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点２
	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）	
(2)目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、文化・歴史など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用しながら、交流人口の拡大に努めます。		事業目的	24年度に制定した観光PRキャラクターを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。
(3)事業内容	内　容	24年度に制定した観光PRキャラクターの貸出、また観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。 また、キャラクターグッズを作成、販売することでよりPRを強化していく。 手賀沼公園近くに観光ＰＲキャラクターの「手賀沼のうなきちさんの顔ぬき看板」を作製設置して、観光シンボルとすることで、交流人口の拡大に繋げる。		当該年度執行計画	手賀沼のうなきちさんの貸出及び各種イベント参加 インフォメーションセンターでのグッズ作成を働きかける。 キャラクターグッズを作成および販売する。 新たに、手賀沼公園近くに「手賀沼のうなきちさんの顔ぬき看板」を作製設置して、観光のシンボルとする。
				当該年度活動結果指標	インフォメーションセンター指定管理者が作成するグッズ　単位：種　想定値：1　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	24年度に制定した観光PRキャラクターを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。	直接	インフォメーションセンター指定管理者が作成するグッズ	種	0	1
３年後	24年度に制定した観光PRキャラクターを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。	直接	インフォメーションセンター指定管理者が作成するグッズ	種	0	3
最終(概ね５年後)	24年度に制定した観光PRキャラクターを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。	直接	インフォメーションセンター指定管理者が作成するグッズ	種	0	5

(7)事業実施上の課題と対応		代替案検討	○有　○無

(8)施行事項

	平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
実施内容 費　用	政策	内　容	金額(千円)	政策	内　容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内　容	金額(千円)
	＊	観光PRキャラクター啓発グッズの作成	927	＊	観光PRキャラクター啓発用ステッカー作	360		＊	観光PRキャラクターグッズ作成販売	
				＊	観光PRキャラクターデザイン制作報償費	50				
				＊	手賀沼のうなきちさんの顔ぬき看板制作	100				
				＊	手賀沼のうなきちさんグッズ作成（販売					
				＊	メモ帳 1000冊	100				
				＊	フェイスタオル 1000枚	273				
				＊	3色ボールペン 1000本	125				
				＊	クリアフォルダ 1000枚	110				
				＊	ラバーストラップ 1000個	306				
				＊	子供用Tシャツ（1色刷り） 100着	125				
				＊	子供用Tシャツ（フルカラー） 100着	141				
				＊	大人用ポロシャツ 100着	216				
				＊	手賀沼のうなきちさんグッズ販売手数料	279				
予算(済)額		合　計	927		合　計	2,185			合　計	0		合　計	0
(9)財源内訳	国庫支出金	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0			補助率 0 %	0		補助率 0 %	0
	県支出金	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0			補助率 0 %	0		補助率 0 %	0
	起債	充当率 0 %	0		充当率 0 %	0			充当率 0 %	0		充当率 0 %	0
	一般財源		927			510				0			0
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	1,675			□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
(10)人件費等	換算人数(人)		0.05			0.05				0.1			0.1
	正職員人件費		465			465				930			930
	嘱託職員報酬額		0			0				0			0
	臨時職員賃金額		0			0				0			0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)			1,392			2,650				930			930
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）			1,392千円／種			2,650千円／種							

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価		事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））		改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	24年度に観光振興計画を策定するほか、25年度からはインフォメーションセンターが指定管理者による運営となり、今後我孫子の観光施策は例年以上に力を注いでいく必要がある。そのため、観光PRツールの一つとして観光PRキャラクターを活用していく。 現在のゆるきゃらブームに乗って、市内外に観光ＰＲキャラクターをＰＲするため、グッズ作成・販売及び新たな観光スポットとして、「手賀沼のうなきちさんの顔ぬき観光看板」を制作設置して、交流人口の拡大に繋げていく。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
	(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他	＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜その他の内容＞	＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	○要 ○不要
		●②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	＜その他の内容＞			
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他	工夫の具体的な内容	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
		＜その他の内容＞ 市民に貸出しすることにで、より手賀沼のうなきちさんのＰＲに繋げる				
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他	取組む内容	実施した具体的な内容	環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
		＜その他の内容＞ 該当なし				
効率性	(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(種)：0 目標値(b)(種)：1 目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f)(種)： 達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞		○要 ○不要
	(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)：2,650 事業費削減額(d)(千円)：△1,258 事業費削減率(%)：△90.37 実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞		実施状況 実績値(g)(千円)： 対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
	(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：0.04　単位：種　費用単位：10万円 計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費		達成状況 実績値(h)： 対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞		○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向